

第 25 回 理 事 会 議 事 録

一般社団法人 大阪金属プレス工業会

1. 理事会の名称 第25回理事会（一般社団法人移行後）
2. 理事会召集日 令和4年6月24日（金）文書を各理事・監事に送達
3. 開催日時 令和4年7月27日（水）18:00～19:45
4. 開催場所 たかつガーデン 2階「鈴蘭」 大阪市天王寺区東高津町7-11
5. 出席者
理 事： 林 秀昭、西村 哲也、関 健一、朝田 武志、島田 真輔、
佐々木 徹也、中辻 将喜、平 光章、橋本 達也（理事9名）
監 事： 濱田 恵（監事1名） 事務局： 中西 順也
6. 理事会成立報告
定款第29条 理事の過半数の出席があり成立が報告された。（出席理事9名/理事総数16名）
7. 議長の選出と議事録署名人の選出
定款第28条により、林代表理事が議長に、また定款第30条により代表理事及び監事（出席1名）が議事録署名人として選出され議事に入った。
8. 議事の経過及び議決の結果
【議事1】 新規ご入会会員の承認審査（株式会社ビゼン 正会員）
事務局から入会の経緯と会社の説明があり、審議の結果 出席した全理事の賛成を得られ、入会が承認された。
【議事2】 保険事務手数料収益について
事務局から説明があり、今後は保険以外でも手数料が得られる事業を進めて行くことで出席した全理事の承認を得た。
【議事3】 今後の事業運営について
林会長から事業の取り組み方や事業内容について、各委員会、各担当者へ指示がありました。
経営者懇話会:9月29日実施予定
工場見学会、金属プレス加工研修塾についても事業を推進する
今後は「事業推進会議」にて継続して審議することを出席した全理事で確認した。
次回の「事業推進会議」を9月8日（木）に開催することを決めた。
【議事4】 青年部会の今後のあり方について
会員減少により存続が危惧される状況であるが、今後の活動の活性化、会員増員に向けて親会からの支援を受けながら集客性の高い勉強会や事業などを実施していくことを、本日出席した全理事の承認を得ました。

以上の決議を明確にするためこの議事録を作成し議長及び議事録署名人がこれに署名押印する。

令和 4年 7月 27日

代 表 理 事 _____ 印

議 事 録 署 名 人 _____ 印

<第25回理事会 議事メモ> 議事録記載 以外の意見交換などを記録致します

【議事1】 新規入会について

- ・定款も変更されたのでプレス業に関わらず取引のある会社を勧誘して下さい。1人1社ノルマお願い。

【議事2】 保険事務手数料収益について

- ・各社お付き合いある保険会社があると思いますが、こだわらない場合は当工業会の団体保険に切り換えて頂くと事務局に手数料が入ります。一度、総務・経営委員会で保険屋さん面談をして何か形にして進めて下さい。(林会長)
- ・(株)大塚商会の「たのめーる・日金協」が始まります。日金協経由で7%安く購入、2%事務局へ手数料が入るそうです。大阪でも可能なか話を聞いています(朝田委員長)
- ・別の団体は「花キューピット」と契約しているそうですが、その他でも副収入が望めそうな事業があれば進めて行きましょう。

【議事3】 今後の事業の取り組みについて(以下を林会長から説明)

DXは大きなテーマではなく、3Dの取り組みや勉強会、工程管理、原価管理などテーマを絞らしましょう
大塚商会は中小企業のノウハウを持っていますので、商売というより彼らのノウハウを活用しましょう
経営者懇話会を実施しましょう。材料費、電力費など高騰しているこういう時こそ経営者の悩みを聞いて懇話会を実施しましょう。
金属プレス加工研修塾を進めて下さい。
国内工場見学会 秋なのか春なのか様子を見て実施しましょう

(意見交換など)

- ・金属プレス加工研修塾の座学は安井氏に段取りをお願いしたい。(朝田委員長)
→必要な時に委員会などに参加して頂いて、指示に基づいて行政などに動いて頂きましょう
- ・経営者懇話会の日程だけは決めておきたいと思います(島田委員長)
→**9月29日(木)18:30~**に決定して進めます。懇親会、ケータリングなどは別途検討します。
- ・国内工場見学会についてテーマを絞って実施したいと思います。(関 健一副会長)
→明星金属工業は金型設計のCADや設計シミュレーションが進んでいるのでよいのでは(林会長)

<19:00から青年部会メンバー(西村勇紀様)が参加して>

【議事4】 青年部会の今後について

- ・青年部だけでなく当工業会全体の問題としてとらえて取り組みます。(林会長)

(意見交換、自由意見など)

- ・現実問題、緊急的措置として青年部の卒業年齢を50歳から55歳に引き上げないと会員が居なくなる
- ・若い頃に二世会などで工場経営について学んで相当勉強になった。今はそういう機会がない
そういう機会が青年部にあったら良いのにと思う。
- ・とりあえず若い幹部社員に集まって頂くように理事の会社1社1名出して集めないと何も始まらない。
- ・例えば金型工業会の若手と共同で勉強会やイベントをするなどは良いのでは
- ・例会で集まるのは事務局ではなく会場を借りて集まるのがよい。まず2,3人でも集まってその会場に集まるメンバーを増やしていく設え・イメージが必要ではないか。
- ・会場費がもったいないので居酒屋で会食前に30分場所を借りて勉強会をしてもよいのでは
- ・直接飲食店に集まるのも良いがオフィシャルの例会としては事務局で集まってそれを見て頂きたい
→目的が違っている、親会から助成金をもらっているのもその姿を見せるのではなく、青年部を活性化するという目的をもって欲しい。親会から何を言われても良いから青年部独自で実施すべき。
- ・青年部がイベント企画&情報を発信しても各会員会社の社長を説得するのは大変だろうから、そこは親会が協力してあげないと、簡単なことで人は集められません
→親会が応援する意味でも、会場費は親会から出してあげませんか(将来への投資として)
- ・人が集まらないと何もできない。イベント(勉強会)の企画が先だとか、人を集めるのが先だとか
同時進行で進めないと何も始まりません。
- ・卒業年齢を55歳に引き上げる件は近々の課題ではあるが、今すぐに決めずにあと半年、1年の間に協議して決めましょう。

以上

※ 次回の会合は 9月8日(木) 18:30~ 事業推進会議として実施します。

参加者は理事のメンバーと青年部会長 とします。